

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計 動向 関連 (東北)	良く なっている	タクシー運転手	お客様の様子	・客といろいろな話をするが、大変だと言いつつも業績は良いようなことを言っており、マイナスの要素はうかがえない。景気は良い方向に向かっているのではない。	
		競艇場（職員）	来客数の動き	・来客数及び購入単価が大きく増加している。	
	やや良く なっている	百貨店（売場主任）	百貨店（売場主任）	来客数の動き	・1月に入って気温の低下が続いており、防寒用品を求めて来客数が増え始めている。セール品やマークダウン商品が中心ではあるものの、少しずつこれまでになかった積極的な購買行動が見受けられている。
			百貨店（営業担当）	販売量の動き	・今月は週末の雪が続くなど天候条件が良くないが、ほぼ前年並みの売上となっている。初売り商戦はやや苦戦したものの、その後のクリアランスについては初日の売上が前年を上回るなど順調に推移している。また、ここ数か月苦戦が続いた婦人服も回復の兆しがみえてきており、大手ブランド撤退の影響を除けばコート類が前年とほぼ同じ売上となっている。
		百貨店（経営者）	来客数の動き	・地下鉄新規路線開業後は、来客数が前年と比較して10%以上も上回っており、それに伴い、食料品、化粧品などの生活必需品の売上が増加している。しかし、結果として来客数は増加したものの、客単価が低下しているため、売上は微増となっている。また、初売り商戦、クリアランスセールはほぼ前年並みとなっている。	
		スーパー（営業担当）	販売量の動き	・暖冬や原油価格下落の影響が良い方向に出てきており、生活必需品の消費が上向いている。	
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・前月に引き続き、来客数が前年を上回っている。また、スーパーの代替として日配食品や総菜の数値が好調である。	
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・前年と比べて天候も良く、多少なりとも来客数に好影響を与えている。ただし、外的要因としての競争環境に変化はなく、競争激化が進んでいる。	
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数が増加傾向にあり、景気の上向きを実感している。	
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・物販に変化はないが、サービス品などの売上が好調である。	
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・AO入試や推薦入学などで進路が早めに決まっている高校生などが、早めにスーツを購入していることにより、例年よりも客の動きが良くなっている。また、経団連の就職関連の報道により、リクルートの客の動きも同様に早く動いている。普段よりも客が前倒しで来ていることもあり、順調に来客数が伸びている。	
		衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・暖冬ではあるが徐々に気温は下がっており、ベシックで手頃な商品の動きは鈍いが、価格と価値のバランスが取れている商品の動きは活発で、全体を押し上げている。	
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・顧客、新規客共に動きが出ている。各社を回って値引き条件を検討して購入する車種を決定するケースが増えてきており、競合が激しい。	
		乗用車販売店（店長）	それ以外	・初売りの効果で状況は良くなっている。	
		その他専門店 [靴]（従業員）	販売量の動き	・気温が低下してまとまった降雪もあったため、長靴などの実用品が動いている。また、初売りを含めて、需要と在庫状況を注視して割引率を細かくコントロールしている。	
		高級レストラン（支配人）	来客数の動き	・冬季競技大会の開催により県外からの来客が多くみられている。それに伴い、地元客の動きも例年と比較して良くなっている。また、降雪量が少ないことも良い要因となっている。	
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・前年4月の値上げにより客単価は上昇したが、来客数は減少傾向にあり前年比98～99%で推移していた。しかし、ここきて前年比は100%を超えており、少し良くなっている。	
都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・夏の終わりから前年を下回っていた一般宴会が、12月後半から徐々に持ち直してきている。また、宿泊もインパウンドの影響が表れているのか、稼働率はあまり落ち込むこともなく横ばいの状況である。			

	都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・前年の忘年会から引き続いて、新年会、祝賀会などの受注が好調に推移している。ただし、レストラン部門に大きな動きはないものの、宿泊部門は伸び悩んでいる。
	旅行代理店(従業員)	販売量の動き	・テロの影響で旅行を控えていた客が動き出しており、年度末に向けた団体旅行の受注状況が改善している。また、北海道新幹線開業を前に、函館を中心とした道南方面への受注が増加している。
	通信会社(営業担当)	お客様の様子	・新規加入者自体は少ない状況のままであまり増えていない。しかし、新規メニューのPR効果もあり、既存加入者の解約は3か月前と比べて大幅に減少している。
	観光名所(職員)	来客数の動き	・来客数は非常に増加している。特にインバウンドによる団体客や、フリーの外国人観光客が来客数の伸びを支えている。また、客単価も2~3か月前から好調に推移しており、インバウンドの客によって売上を出している状況が続いている。
	その他サービス [自動車整備業](経営者)	販売量の動き	・年末年始の繁忙期が終了して若干落ち着くとみているが、来客数や販売額などは好調を維持している。
変わらない	商店街(代表者)	販売量の動き	・暖冬で来客数が伸びたこともあり、商店街としては出足の良い初売りとなった。しかし、中旬以降は急転して厳冬となったため、月後半はすべての業種で来客数が激減しており、苦戦の年初となっている。
	商店街(代表者)	来客数の動き	・各店舗の来客数は横ばいもしくは減少しているものの、1月に入ってからの大雪により、例年と比較して単価は上昇している。
	商店街(代表者)	お客様の様子	・冬季国体開催であるが、今一つ盛り上がり欠けている。12月末が期日のプレミアム付商品券の駆け込み利用により、消費は一時的に促進されたが、現在は下降気味である。
	一般小売店[書籍](経営者)	来客数の動き	・来客数は減少しているが、客単価は上昇しており、全体としては変わらない状況である。
	一般小売店[医薬品](経営者)	販売量の動き	・3か月前と比較して大幅な伸びはないものの、売り出しなどもあり販売量は前年比101%となっている。また、客の日々の買物の様子も良い傾向にある。
	一般小売店[カメラ](店長)	販売量の動き	・低価格商材に動きがあるものの、高額商材の販売量に伸びがみられないため、全体的な売上に変化はない。
	百貨店(総務担当)	お客様の様子	・1月は初売り商戦、セール、バレンタイン商戦と続いており、区切りのオケーションや、百貨店ならではの価値のある商品に対しては、客もそれなりの関心を持っている。しかし、それ以外の不要不急のものに関してはそれほど購入されていない。決して景況感が悪いわけではないが、ここしばらくはこのような二極化の状況が続いている。
	百貨店(営業担当)	お客様の様子	・今月後半から天候が悪化しており来客数が伸びていない。また、冬のセール品への飛びつきも悪い状態である。
	百貨店(買付担当)	お客様の様子	・月の前半は各カテゴリー共に冬物が動いて比較的順調に推移していたが、後半は降雪などの天候に左右されており、結果的に前年を下回っている。
	百貨店(経営者)	お客様の様子	・月初から中旬の来客数は相応であり、デイリー性のあるものは動いたが、暖冬の影響で季節商材である単価の高い防寒物の動きが鈍い状況にあった。中旬以降の寒波は客足の鈍化に大きく影響しており、かつ、冬物は時期を逃した形となっている。
	スーパー(経営者)	来客数の動き	・24日の大雪までは来客数が増加していたが、以降は未知数である。
	スーパー(経営者)	単価の動き	・1月の1品平均単価は前年を若干下回っているが、買上点数は前年を若干上回っている。また、来客数、客単価も前年並みであり、全体的な動きは前月までと変わらない状態である。
	スーパー(店長)	販売量の動き	・暖冬の影響もあり鍋物食材、冬物商材の売行きが悪く、買上点数が減少している状況が続いている。
スーパー(総務担当)	来客数の動き	・来客数、買上点数の伸びに伴い、売上も増加している。ただし、1品単価の低下が懸念材料である。	
スーパー(営業担当)	お客様の様子	・年末商戦、クリスマス商戦、年始商戦共にほぼ前年並みで推移し、大きな数値の変化はない。ただし、今月中旬以降の降雪により、買物の様相は例年同様の週末集中型になっている。	

コンビニ（経営者）	単価の動き	・たばこの売上は前年比10%減の状態が継続している。それに伴い来客数も減少し、単価への影響も大きいものの前年比の下がり具合はさほどではなく、むしろたばこ以外は堅調に推移している。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数が増加するのはお盆や正月などの帰省時期だけであり、人口減少及び販売チャネル増加の状況からも、1店舗当たりの来客数が増えるとは考えにくい。
コンビニ（店長）	来客数の動き	・降雪が少なく前年と比較して来客数が増加しているが、逆に客単価は低下している。そのため、物販は横ばい状態となっている。
衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・暖冬で学生用のコートの動きが極端に鈍い状態である。
衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・寒くなるのが遅かったせいか、冬物が売れていない。
衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・景気的不安定と暖冬の影響で、防寒着を購入する客の来客数が減少している。
衣料品専門店（総務担当）	販売量の動き	・初売り及びバーゲンの月であるが、季節商材を中心に不振が続いている。
家電量販店（店長）	来客数の動き	・来客数が前年比90%の状況が続いている。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・いつもであれば決算時期を迎えて販売量が伸びていく時期であるが、修理をして購入を先延ばしにする客が多くなっている。
乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・土曜日、日曜日の新規客の来客数に全く変化がない状態が続いている。
乗用車販売店（店長）	来客数の動き	・新型車が発売されたにもかかわらず、来客数に伸びがみられていない。大規模イベントを開催しても、客が集まらない状態である。
住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・前に受注した案件が生産及び納品となるため、販売量が増加している。ただし、金額ベースにおいてはさほどの変化はない。
その他専門店〔酒〕（経営者）	来客数の動き	・暖冬から一気に冬の気候及び積雪となり、飲食店は来客数が減少して対応に苦労している。また、店頭販売も年末の在庫が思った以上に動かないため、今月は全体的に低迷している。
その他専門店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・近年控えていた新年会を開催する企業が増えたことで、今前半は飲食店への販売量が好調であった。しかし、中旬を過ぎてからは急に落ち込みはじめ、結局は横ばいの状況となっている。人の動きが継続しない状況であり、客からはまだそこまでの余裕は見受けられない。
その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	販売量の動き	・1月はなかなか注文に結びつかない時期であるが、今年は更に注文数が少ない状態である。
その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	販売量の動き	・暖冬の影響で暖房用燃料の販売量が低迷しており、1月は前年比85%程度の荷動きである。20日以降は寒波により需要が上向いているものの、前年並みの販売は難しい状況である。原油安と灯油のだぶつきにより暖房用燃料の仕入価格が下がっているが、販売単価も下がっている。
高級レストラン（経営者）	販売量の動き	・寒さが戻ってきており、少しは客の動きがあることを期待したが、非常に良くない状態が続いている。
観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・何とか前年並みで推移しているものの、良くなっているという気配はない。
観光型旅館（スタッフ）	販売量の動き	・プレミアム付旅行券の良い影響により好調な状態が継続している。単価はなかなか上がらないものの、来客数は順調であり地域全体でみても良い状況である。
都市型ホテル（経営者）	販売量の動き	・11～12月の年末商戦は販売量も増加し好調であったが、今月は3か月前のようなやや少ない販売量で落ち着いている。
都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・以前から販売量が落ち込んでいることには変わりはないものの、低い位置で現状を維持している。来客数は微増しているが販売量が増えないため、1人当たりの消費単価が下がっている。結果として良くも悪くもない状況が続いている。
旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・3か月前と比べて、販売量の状況は特段良くも悪くもなっていない。
旅行代理店（店長）	販売量の動き	・月ごとの販売量の落差が激しい状態であり、不透明である。

	タクシー運転手	お客様の様子	・客は正月が終わってほっとした様子であるが、なかなか財布のひもは緩くならないようである。
	通信会社（営業担当）	競争相手の様子	・原油価格の下落によりガソリン代が安くなっているため、レジャー関連が伸びている様子がうかがえる。しかし、相変わらず給与所得が低迷しており、節約志向が続いている。
	通信会社（営業担当）	単価の動き	・前から引き続き景気は向上していない。原油安による支出の軽減はあるものの、前年からの物価上昇分を吸収できていない。
	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・顧客の設備投資意欲に変化がみられていない。
	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・顧客の要望はコスト削減のことばかりであり、良い話を聞くことはない。
	遊園地（経営者）	来客数の動き	・今月も6日間の期間限定営業をしている。暖冬の影響や地下鉄の新規路線開業もあり、来客数は前年よりも好調である。
	美容室（経営者）	来客数の動き	・来客数が前年比98%前後で推移している。
	美容室（経営者）	単価の動き	・単価の動きが低調なままで推移している。
	美容室（経営者）	来客数の動き	・年末年始は着付けの客もなくひっそりとしている。以前のように成人式の着付けの予約が殺到することもなくなり、通常の日と変わらない1月となっている。
	住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・受注の確約は取れているものの、契約までの時間が長いため、受注予定の時期が読めない状況である。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・新年になってさすがにアベノミクスも色あせた感がある。景気上昇の機運は全く無いといっている。やはり根本的な問題である所得格差の縮小を第一とした政策が必要ではないか。収入の増加が明確にならなければ消費に回るわけがない。
	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	来客数の動き	・常連客の来店が少なくなる月である。数値的には平年並みの来客数であるが、改善がみられた前年と比べると、それ以前の来客数に戻ってしまっている状態である。
	一般小売店〔寝具〕（経営者）	販売量の動き	・1月は毎年売上が落ち込む時期であるが、今年は更に利幅の大きい仕立物が少ないことが、落ち込む要因となっている。
	スーパー（経営者）	お客様の様子	・暖冬の影響で冬物商材の動きが鈍い。また、灯油代、ガソリン代が安く道路も乾いているために、他店への買い回りがみられている。
	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・今年は、例年のなかでも一番人の動きの無い正月であった。まずまずの天気であるにもかかわらず、普通の日曜日よりも悪い状況である。
	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数は前年比100%を維持しているが、依然として客単価が上昇しない。客は余計なものを買わない傾向にある。
	コンビニ（店長）	単価の動き	・建設関係の客において、一時の勢いが無くなってきている。また、主婦なども含めて高単価なもの避ける割合が高まっている。
	コンビニ（店長）	来客数の動き	・例年と比べて雪が少なく来客数が順調な状態であったが、寒波により例年と変わらない積雪量となり、売上も徐々に落ち込み始めている。客の購買力が前年より強いのか単価は上昇しているが、除雪代などが大きな負担となっている。
	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・セールが始まって来客数が増加しない。さらに、防寒衣料の不振により客単価も減少している。
	家電量販店（店長）	販売量の動き	・暖冬傾向にもかかわらず年末年始の売上は前年を上回っており、また、暖冬の影響で売れていなかった暖房用品も、寒波によって徐々に動き出している。ただし、AV家電、白物家電のような大きく単価の高いものは前年を下回っている。景気に対する不安感が広がっており、客の消費マインドが低下しているようである。
	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・暖冬少雪の影響もあり、季節商材の売上が激減している。また、降雪地域の金回りも悪く、新車販売にも影響が出ている。
	乗用車販売店（経営者）	競争相手の様子	・自動車市場の各数値の傾向をみると、前年比の伸びに勢いが無い状態である。
住関連専門店（経営者）	単価の動き	・前年は比較的高単価な商品が売れていたが、最近になって客は再び低単価な商品に手を伸ばしている。	

	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・今月は客単価が低調のまま推移している。25日を過ぎてからは若干上昇しているものの、ディナータイムの来客数も極端に減少しており、非常に厳しい状況である。	
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・新年会は忘年会よりも少ないため、11～12月と比較すると1月は静かである。しかし、月によって変動があるため、どちらともいえない。	
	一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・正月に散財したのかまるっきり駄目な状態であり、年が明けてからは販売量もそうだが人の動きが確実に落ち込んでいる。	
	一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・今年から新年会を開催しなくなっている会社があるとの話を客から聞いている。実際に当店の新年会の数を前年と比較したところ、やはり少なくなっており、周辺の会社関係も景気は良くないようである。	
	観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・秋口は団体旅行シーズンで来客数は好調であったが、1月は新年会などの団体客、個人客の来客数が思いのほか伸びていない。	
	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・年明け以降、宴会受注件数の前年比が減少している。また、個人利用の来客数も前年と比較して減少している。	
	タクシー運転手	来客数の動き	・今月は正月であり、新年会での需要を期待していたが、新年会自体が本当に少ない状態である。	
	観光名所（職員）	来客数の動き	・今年は降雪が少なく、近隣のスキー場などもオープンが遅れて、人の動きが少ない様子である。	
	設計事務所（経営者）	お客様の様子	・今の時期は毎年仕事が少ない時期ではあるが、今年はここ3年の間で一番の仕事の少なさであり、特に住宅関連の仕事が無い状態である。	
悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・地下鉄の新規路線開通によりバス路線などの交通網がすっかり変わっている。そのため、従来の商店街の人通りが減少しており、活気もなくなっている。	
	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	来客数の動き	・今年は暖冬であったが、今月中旬以降は週末になると大雪が降り、せっかくの書き入れ時である土日に非常に大きなダメージを受けている。そのため、全体的な来客数が大きく落ち込んでいる。	
	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・良い物を大事に着るといった客が減っており、ファストファッションが世代を超えて浸透してきている。	
	住関連専門店（経営者）	来客数の動き	・今年に入ってから、降雪の関係で商店街はがらでありひっそりとしている。	
	観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・来客数やその他の数値が、前年と比較してかなり減少している。	
	その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	販売量の動き	・受付件数は前年を上回っているが、供給高は前月と同様に前年を下回っている。	
企業動向関連 (東北)	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	出版・印刷・同関連産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・年度末に向けての受注が増えている。しかし、今年からは何件か経費削減のために注文を取り止めるケースが出てきている。
		建設業（従業員）	受注量や販売量の動き	・準官公庁系の工事発注に若干の進展がみられている。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・やっとまとまった雪が降り、冬型ビジネスに活気が戻りつつある。
	変わらない	農林水産業（従業者）	受注価格や販売価格の動き	・前年のももは単価が2割程度高かったが、ふじりんごは前年の1～2割ほど安い単価となっている。
		食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・初売りは良かったものの、その後は全体的に動きが鈍く、前年を下回っている。
		食料品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・全体的な販売量の前年割れ傾向は例年と変わらないが、今冬の暖冬傾向が影響したのか、特に清酒が悪く前年比90%の販売量となっている。
		木材木製品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・住宅部材の価格改善が進まず、収益性が悪い状態が続いている。
		出版・印刷・同関連産業（経理担当）	競争相手の様子	・各社の売上について話を聞くが、3か月前と比べてもほぼ横ばいとなっているところが多いようである。
		土石製品製造販売（従業員）	受注量や販売量の動き	・今季は積雪量が少なく予定より工事が進んでいる。しかし、1月に入って積雪量が増えたことから、受注量が大きく増えていない。
一般機械器具製造業（経営者）		取引先の様子	・取引先の販売において改善がみられていない。また、在庫調整のためか受注量が減少しているところもある。	

	電気機械器具製造業（営業担当）	取引先の様子	・年度末にかけて、製造業の工場では受注が多く入っているところが見受けられる。また、SEなどのシステム系の企業は特に忙しい状況である。	
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・冬季に入り、住まいを暖かくしたいという要望で住宅リフォームの相談が入っている。	
	建設業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・各社とも稼働率が高く、売手市場が継続している。	
	輸送業（経営者）	取引先の様子	・状況が大きく変動するような要因はなく、現状維持が続いている。	
	通信業（営業担当）	取引先の様子	・受注状況はほぼ計画どおりに安定して推移している。	
	通信業（営業担当）	取引先の様子	・投資よりも経費削減の動きが顕著である。	
	金融業（営業担当）	取引先の様子	・暖冬で除雪関連の業者は影響を受けているものの、県外からの受注がある製造業の業績は堅調に推移している。	
	広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・年度末に向けての動きはあるものの、3か月前と比べて受注量は好転していない。	
	広告代理店（経営者）	取引先の様子	・様子見をしているのか、得意先の状況にあまり変化はみられていない。	
	公認会計士	取引先の様子	・全体的な業績は3か月前と変わらない。建設関係は好調な企業が多いものの、他の業種は売上、利益共に前年を下回っている企業が多い。	
	コピーサービス業（従業員）	受注量や販売量の動き	・受注に関する数字に変化はなく横ばいである。	
	その他企業〔企画業〕（経営者）	取引先の様子	・PR活動の縮小傾向が継続している。さらに、1件当たりの予算についても以前にも増して値引き要請が増加している。これは当社だけでなく業界全体の傾向である。	
やや悪くなっている	農林水産業（従業者）	それ以外	・廃業農家から稲作の受託が増えている。米価低迷の影響により、耕作面積が増えるほど収益は圧迫されている。	
	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・前年12月までと比較して、各店舗からの注文による出荷量が若干減少している。	
	電気機械器具製造業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・半導体製品の大口価格の下落が止まらない。業績が悪化し、その影響が給与、福利厚生などへも徐々に波及してきている。	
	通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・携帯電話料金問題の行方が、携帯電話及び関連機器への販売量に影響している。	
	広告業協会（役員）	それ以外	・地下鉄の新規路線開通などにより初売りの来客数は増加したが、暖冬の影響で売上は前年を下回っているようである。広告業界としても前年を下回っており、特に折込広告関係は消費税増税以降から芳しくない状態が続いている。	
	その他企業〔工場施設管理〕（従業員）	取引先の様子	・取引先の受注見込みが落ち込んできているとの話を聞いている。	
悪くなっている	その他非製造業〔飲食料品卸売業〕（経営者）	取引先の様子	・取引先である地元のスーパーでは、来客数は3%ほど伸びているが、買上点数や1品単価、売上が全体的に5%ほど落ち込んでいるということである。	
雇用関連 (東北)	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・年度末にかけての状況から、求人数は伸びている印象がある。
		アウトソーシング企業（社員）	それ以外	・前年同時期より仕事が多い状況である。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求職者数は微増し有効求職者数は微減している。また、新規求人数並びに月間有効求人数は増加傾向にある。有効求人倍率は6か月連続で1.1倍台で推移しており、求人数が増加していることで明るい印象がある。
変わらない	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・登録者の希望条件に合う派遣業務の受注件数の伸びが鈍化している。ただし、発注先の派遣会社を増やしているため、実際の需要は変わらない状態である。	
	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・年が明けた今でも、2016年4月の新卒採用活動を継続している企業が散見されている。	
	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・求職者数が増加せず、求人とのミスマッチが続いている。	
	人材派遣会社（社員）	採用者数の動き	・大型店オープンの影響により、他店舗の採用難易度が上昇している。	

	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・企業側の採用の動きは堅調であり、欠員補充だけでなく中長期を見据えた採用も多々みられている。また、費用をかけてでも採用をするという動きを取る企業の数も増えている。
	新聞社 [求人広告] (担当者)	求人数の動き	・地元の1年の景気を占う初売りは、暖冬で入店は増えたものの、冬物衣料が中心のデパートを筆頭に、売上が軒並み1~2割程度減少している。その後は大雪で客足が遠のき、低迷した景気感でのスタートとなっている。
	新聞社 [求人広告] (担当者)	雇用形態の様子	・多くの業種で人手不足感はあるものの、正規雇用の募集広告は案外少ない状況である。
	職業安定所 (職員)	周辺企業の様子	・求人の状況は増加傾向にある。しかし、飲食業や小売業を中心に売上不振による解雇や事業譲渡などの動きが出ている。
	職業安定所 (職員)	求職者数の動き	・新規求職者数が2か月連続で増加しており、その内容は在職求職者の占める割合が増えていることによるものである。求人倍率は1.5倍と相変わらず高止まりとなっているが、人手不足感があっても前年同月の求人倍率を下回っている。
	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・新規求人数は、建設業が暖冬の影響もあり前年同月比で5割以上増加しているものの、全体では引き続き減少傾向にある。また、有効求職者数も減少していることから、有効求人倍率は横ばいの状況が続いている。
	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・人手不足であり、求人の高止まりの状況に変化はない。しかし、新規求人数、月間有効求人数共に、前年同月と比較して減少しており、前年と比べて求人の動きにやや落ち着きがみられている。
	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・有効求人数は前年と比較して2か月連続で増加しているものの、新規求人数は増加、減少を繰り返している。
やや悪くなっている	新聞社 [求人広告] (担当者)	周辺企業の様子	・暖冬の影響で冬物衣料が低調である。また、雪不足のためスキー場のオープン延期、イベントの中止や規模縮小といった事態がおきている。
	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・新規求人数が8か月ぶりに前年同月と比べて下回っている。一方、新規求職者数は3か月連続で前年同月を上回っている。
	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・平成27年12月の新規求人数は前年比8.0%の減少であり、3か月前との比較でも14.0%の減少となっている。季節的なものを除いても下げ幅が大きいため注意が必要である。また、月間有効求人数は前年比4.4%の減少となっており、3か月前と比較しても6.1%の減少と、こちらも下げ幅が大きい状況である。
悪くなっている	-	-	-